
平成19年2月期中間 会社説明資料

平成 18年12月10日

株式会社 山陽百貨店



目次



1.企業の概要		4.営業の概況	
企業理念	1	お客さま政策の推進	14
山陽百貨店のアイデンティティ	2	トピックス(1)	15
当社の概要	3	トピックス(2)	16
株式の状況	4	店舗情報(1)	17
株価の推移	5	店舗情報(2)	18
連結子会社	6	店舗情報(3)	19
2.中間決算の概要		5.経営方針	
平成19年2月期 中間連結決算の概要	7	SANYO倫理行動基準	20
中間連結キャッシュ・フローの状況	8	コンプライアンス経営	21
事業別セグメントの状況	9	内部統制システム	22
平成19年2月期 中間単体決算の概要	10	中期経営計画(H18~H21)(1)	23
部門別売上高の状況(単体)	11	中期経営計画(H18~H21)(2)	24
3.業績予想			
平成19年2月期 連結業績予想	12		
平成19年2月期 単体業績予想	13		



1. 企業の概要



企業理念



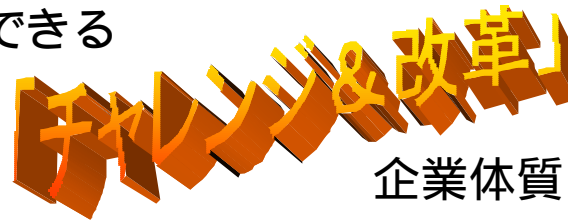
山陽百貨店はお客さま第一の企業精神に則り、
ひとびとと地域の生活文化の向上に
貢献する企業を目指す。

山陽百貨店のアイデンティティ



行動指針

新しい時代に対応できる



企業体質と組織風土を創出する。

企業姿勢

「山陽は」・「山陽のあの売場は」・「山陽のあの人は」決して私の期待を裏切らないと、お客さまから評価を頂ける「企業」・「売場」・「人」を目指す。

「山陽と」・「山陽のあの売場と」・「山陽のあの人と」取り組んで良かったとお取引先さまから評価を頂ける「企業」・「売場」・「人」を目指す。

株主さまから評価を頂ける「企業」を目指す。

「山陽で」・「山陽のあの売場で」・「山陽のあの人と」働いて良かったと、全ての従業員が評価できる「企業」・「売場」・「人」を目指す。

当社の概要



社名	株式会社 山陽百貨店 (Sanyo Department Store Co., Ltd.)
設立	1952年 (昭和27年)2月1日 創業 1953年 (昭和28年)7月1日
本店	兵庫県姫路市南町1番地
代表者	代表取締役社長 澤田瑞穎
資本金	405百万円
店舗	本店 (兵庫県姫路市南町1番地)売場面積 27,972㎡ 郊外ショップ (福崎・龍野・広畑・網干・赤穂・豊岡・和田山)
従業員	273人 (パートタイマーを除く就業人員)



山陽オリジナルキャラクター

夢見ちゃん

株式の状況



発行可能株式総数	普通株式 200万株
発行済株式総数	普通株式 810,000株
単元株式数	100株
上場証券取引所	JASDAQ (ジャスダック証券取引所) 証券コード: 8257
株主名簿管理人	住友信託銀行株式会社
公告方法	当社のホームページに掲載する。 (http://www.sanyo-dp.co.jp/densikoukoku.html)
株主優待制度	毎年2月末日現在の株主に、所有株式数に応じて優待割引券および優待飲食券を年1回贈呈する。

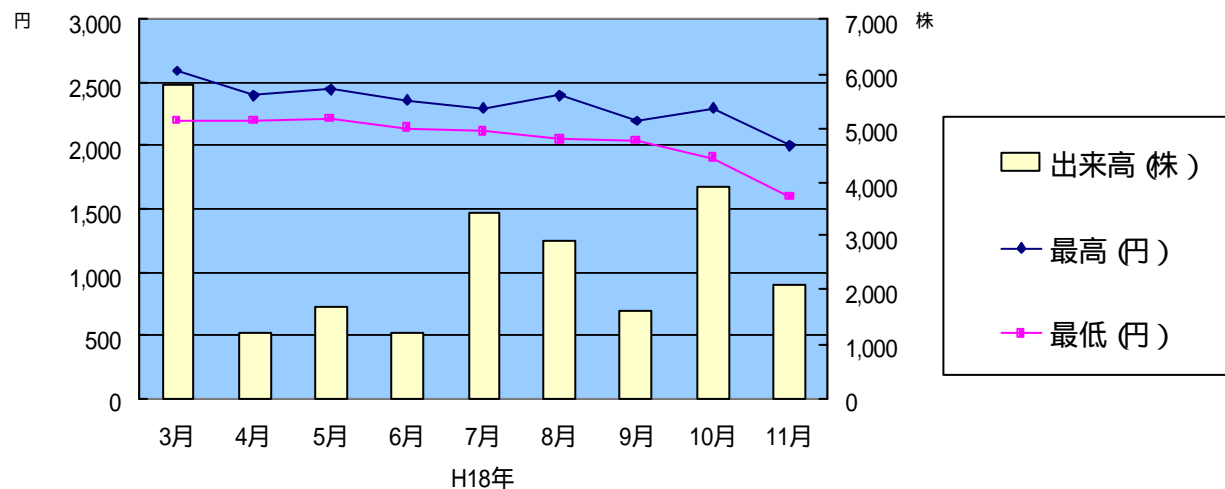


株価の推移



株価の推移 (当中間会計期間およびその直近時点における月別最高・最低株価と月別出来高)

月別	H18年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
最高 (円)	2,600	2,400	2,450	2,360	2,305	2,400	2,200	2,300	2,005
最低 (円)	2,200	2,200	2,210	2,135	2,120	2,055	2,040	1,900	1,600
出来高 (株)	5,800	1,200	1,700	1,200	3,400	2,900	1,600	3,900	2,100



連結子会社



	(株)山陽友の会	(株)サンヨー-マート	山陽アメニティ サービス(株)	山陽デリバリー サービス(株)	兵庫ライフイン ダストリー(株)	(株)キャリアネット
所在地	兵庫県 姫路市	神戸市 垂水区	兵庫県 姫路市	兵庫県 姫路市	兵庫県 姫路市	兵庫県 姫路市
資本金 (千円)	20,000	40,000	10,000	10,000	40,000	30,000
出資比率 (%) (間接保有含む)	100	100	100	100	98.49 (100)	49(100)
事業内容	割賦販売法 による前払式 特定取引業	食品 スーパー マーケット	ビル メンテナンス業	自動車 運送業	書籍・CD・ ビデオの 販売業	一般労働者 派遣事業 および請負業
決算期	2月	1月	1月	1月	1月	1月

(注) 株式会社サンヨー-マートおよび兵庫ライフインダストリー株式会社は平成18年9月22日開催の臨時株主総会の決議により、決算期を7月から1月に変更しました。

2.中間決算の概要



平成19年2月期 中間連結決算の概要



(単位:百万円)

	第76期中間 16 / 8	第77期中間 17 / 8	第78期中間 18 / 8	前年比	当初予想 (H18.4.21)	増減額
売上高	13,704	13,494	12,743	94.4%	12,987	244
経常利益	48	79	2	-	2	0
中間純利益	9	33	15	-	16	1
1株当たり 中間純利益	(円) 11.63	(円) 41.79	(円) 19.85	-	-	-

百貨店業

前期リニューアルの反動減

低温、雨など天候不順による季節商品の不振

人件費をはじめとする経費の削減

スーパーマーケット業

前期実施の不採算店舗閉鎖による店舗数の減少

競合店との競争激化

中間連結キャッシュ・フローの状況



(単位:百万円)

	第76期中間 16 / 8	第77期中間 17 / 8	第78期中間 18 / 8	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	338	99	364	265
投資活動による キャッシュ・フロー	244	721	275	446
財務活動による キャッシュ・フロー	42	554	206	348

主な増減要因

営業活動によるキャッシュ・フロー

減価償却費323百万円、仕入債務の増加131百万円、前受金の増加132百万円、たな卸資産の減少86百万円等による収入に対し、売上債権の増加99百万円、未払金の減少227百万円等による支出によるもの

投資活動によるキャッシュ・フロー

百貨店の売場改装およびPOSレジ機器等の有形固定資産の取得127百万円、POSレジシステムソフトウェアの無形固定資産の取得127百万円等があったことによるもの

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入による収入2,700百万円に対し、短期借入金金の純減1,250百万円、長期借入金金の返済による支出が1,242百万円等あったことによるもの

事業別セグメントの状況



(単位 :千円)

	第76期中間 (16 / 8)		第77期中間 (17 / 8)		第78期中間 (18 / 8)			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	前年比	営業利益	前年比
百貨店業	11,939,708	66,886	11,805,483	77,028	11,624,000	98.5%	18,266	-
スーパーマーケット業	1,420,114	31,124	1,322,273	8,052	781,370	59.1%	1,628	-
その他の事業	638,819	41,286	650,966	41,677	575,685	88.4%	21,868	52.5%
計	13,998,642	77,048	13,778,722	43,403	12,981,056	94.2%	41,764	-
消去又は全社	(293,920)	2,185	(284,143)	2,338	(237,066)	83.4%	6,846	292.8%
連結	13,704,721	79,234	13,494,579	41,064	12,743,990	94.4%	48,610	-

(注) 各事業区分の事業内容

百貨店業

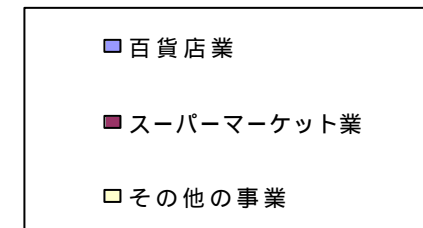
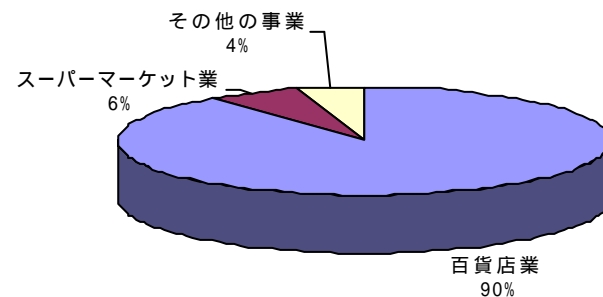
スーパーマーケット業

その他の事業

衣料品、身回品、雑貨、家庭用品、食料品、書籍の販売

食料品、日用雑貨、衣料品等の販売

清掃、物流、人材派遣等



平成19年2月期 中間単体決算の概要



(単位:百万円)

	第76期中間 16 / 8	第77期中間 17 / 8	第78期中間 18 / 8	前年比	当初予想 (H18.4.21)	増減額
売上高	11,895	11,770	11,585	98.4%	11,809	224
営業利益	62	74	13	-	-	-
経常利益	20	116	39	-	31	8
中間純利益	10	1	47	-	41	6

ワントゥワンマーケティングの実践

顧客分析システムを活用したお客さま囲い込み戦略

売場マネジメント力の向上

5つの基本「笑顔・挨拶・大きな声・明快な返事・機敏な動作」の実行

お客さまとの接点づくり

デパ前ライブ・イベントカレンダー

人件費のさらなる削減

広告宣伝費の効率的運用

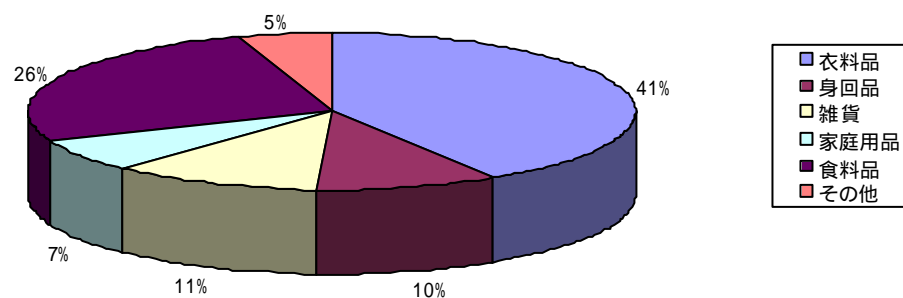
(注) 営業利益は業績予想数値を公表していません。

部門別売上高の状況 (単体)



(単位 :百万円)

	第76期中間 16 / 8	第77期中間 17 / 8	第78期中間 18 / 8	前年比
衣料品	4,822	4,836	4,748	98.2%
身回品	1,165	1,210	1,150	95.0%
雑貨	1,520	1,517	1,321	87.1%
家庭用品	576	517	768	148.7%
食料品	3,275	3,148	3,030	96.3%
その他	535	539	565	104.7%
計	11,895	11,770	11,585	98.4%



3.業績予想



平成19年2月期 連結業績予想



(単位:百万円)

	第76期 17/2	第77期 18/2	第78期 19/2(予想)	前年比	当初予想 (H18.4.21)	前年比
売上高	28,243	27,362	26,108	95.4%	26,492	96.8%
経常利益	184	2	56	2800.0%	62	3100.0%
当期純利益	46	74	40	-	36	-

百貨店業

上半期の天候不順による季節商品の売上不振をカバーできず、減収を予想

前期末実施した希望退職による人件費減少と業務費のさらなる削減により最終黒字転換

スーパーマーケット業

前期実施した不採算店舗の閉鎖による売上減少

平成19年2月期 単体業績予想



(単位 :百万円)

	第76期 17 / 2	第77期 18 / 2	第78期 19 / 2 (予想)	前年比	当初予想 (H18.4.21)	前年比
売上高	24,597	24,212	23,777	98.2%	24,142	99.7%
経常利益	132	13	22	-	31	-
当期純利益	21	106	12	-	11	-
1株当り 年間配当金 (円)	0	0	-	-	0	-

4. 営業の概況



お客さま政策の推進



お客さま接点の改革

CRM (カスタマーリレーションシップマネジメント)の推進

マスマーケティングからワンツワンマーケティングへ
マスマーケティングからバズマーケティング (口コミ)へ

～ 売場における具体的取り組み ～

5つのテーマ (笑顔・挨拶・大きな声・機敏な動作・明快な返事)の推進

販売セット率の向上

コミュニケーションレターの推進

など

ピックアップ (1)



夏休み恒例の大恐竜展。
お子さま連れのご家族で
連日にぎわいました。

ピックアップ (2)



「HIMEJI WINTOPIA 2006」への協賛として、著名なステインドグラス作家立花江津子先生の作品が1階のショーウィンドーを飾り、駅前のクリスマスムードを盛り上げます。



人気の「大京都展」が復活しました。京舞妓ふく尚さんによる踊りの披露と写真撮影会がおこなわれました。

店舗情報 (1)



6階レストラン街にファミリーレストラン「軸香菊 (マーガレット)」がオープンしました。



リフレクト



コムサ・デ・モード トールサイズ

婦人服のフロアに人気ブランドが登場。

店舗情報 (2)



「マールブランシュ」が山陽に常設売場で新登場。
人気のスイーツを毎日お届けいたします。



1982年京都北山で創業したマールブランシュは自然を尊び、
伝統を重んじる人々に愛されてきました。
洋菓子を通して美味しさを提供するだけでなく
新しい日本文化を発信する存在でありたいと考えています。

店舗情報 (3)



鮮度にこだわったシーフードや野菜の
チカラを美味しく楽しく新しく提案。
人気の惣菜コーナー「RF1」がリニューアル。



伝統を重んじつつも、斬新な発想で
新しい食文化を目指す和菓子ブランド
「源吉兆庵」がリニューアルオープン！



5. 経営方針



SANYO倫理行動基準



倫理宣言

山陽は社会の価値ある企業としての役割を果たすため、常に倫理を重んじ 公正で誠実な企業活動を行っていく。

倫理行動基準

1. 法令遵守
2. 公正で健全な行動
3. 社会とのコミュニケーション
4. 人権の尊重
5. 良き企業市民としての行動
6. 地球環境への配慮
7. 役員 幹部社員の責務

コンプライアンス経営



企業倫理の推進と継続性を保つため、役員をはじめとして全社で取り組まなければなりません。その前提として組織が計画、実行、チェック、是正がうまく機能する体制づくりが必要となってきます。

当社におきましては、コンプライアンス委員会を核として強力的に推進していきます。

中期経営計画 (平成18年～平成21年)(1)

JR姫路駅鉄道高架事業と周辺整備事業

平成18年3月のJR山陽本線の高架化に続き、平成21年度には姫新線、播但線の鉄道高架事業が完了し、併せて、姫路駅周辺の区画整備事業が進められていきます。

平成21年度のあるべき姿

新しい姫路駅前のエントランスゾーンにふさわしい、地域のひとびとに愛される、新複合型百貨店を創り上げていきます。

新複合型百貨店とは、総合的な品揃えと専門特化した品揃えの両分野をミックスさせた百貨店をいう

行動目標

お客さまの接点を何よりも大切にする組織風土を創り上げる。



JR姫路駅を中心とした当社を取り巻く
周辺環境が大きく変わります。

中期経営計画 (平成18年～平成21年)(2)

取り組み課題

1. 全員の意識と行動改革

全従業員の現状認識の徹底
「お客さま第一」「現場第一」主義の徹底
チャレンジと改革の具体化
業務サイクルの定着

2. 営業力強化と収益構造の確立

新店舗戦略
「お客さま力」「販売力」「商品力」の強化

3. ローコスト経営の推進
コスト構造の見直し

4. グループ事業の再構築
事業の選択と集中

5. 中心市街地活性化への取り組み

平成21年度 (連結)

営業利益目標 350百万円

有利子負債残高目標 85億円

この資料に関するお問い合わせ

〒670-0912 兵庫県姫路市南町 1番地
株式会社 山陽百貨店
総務ディビジョン

TEL (079) 223-1231

FAX (079) 223-5707

E-mail somu@sanyo-dp.co.jp

(注)この資料に記載された内容は、平成 18年12月10日現在において当社が合理的と判断した計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により 予告なしに変更される場合があります。また、業績等の見通しは様々な重要な要素により実際の業績と大きく異なることがありますので、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えられますようお願いいたします。